

第9号

中央大学学員会東京文京区支部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-26-8 松しん内

TEL. 03(3814)7059

FAX. 03(3814)0583

編集 広報委員会

発行人 大久保治男

白門文京

東日本大震災で思うこと
災い転じて福となせ

支部長 大久保治男



三月十一日昼M9の国内最大級の大地震が関東一部と東北地方に突如発生、その直後に一部では十五メートルを超す想像を絶する巨大津波がリアス式海岸各地に襲いかかり全地域を壊滅させ、死者約一万五千人、行方不明者約一万人、避難者は五月八日現在未だ十二万人と謂われています。正に前代未聞、日本の歴史始まって以来の大惨事です。これに加えて福島第一原子力発電所の地震と津波による崩壊に伴う、放射線の危険による大恐怖、立入禁止区域の拡大！被害者や御家族の悲嘆は計り知れない極致であろう。正に三大地獄といえます。然し、この東日本大震災の被災者や被災地に対する全日本人、いや世界中の人々の同情や支援の拡がりもすばらしいものがありました。

特に日本においては、最近は大衆消費社会、経済優先社会、個人中心社会等々エゴとエコノミックスの現代社会の弊害が随所に現れていました。政治家達も他人の揚足取りや罵り合いばかり、官僚も自己の保身と天下り先探し、経済界も自社の利益ばかり、教育界ですら偏差値や受験競争、宗教界も信者の心の安らぎや信仰より御布施や建物の競争：大学時代学んだゲマインシャフト（心豊かな社会）よりゲゼルシャフト（利益追求、エゴな社会）の社会へ突入していたのです。しかし、この度の大地震の悲劇のショックにより人々は目覚めました。復活したのです。日本人の「和」の精神、日本人の「共同体」意識、日本人の「自然への恐怖と崇拜と共存」等々古来よりの「日本人らしさ」の心の底の叫びが復活したのです。「被災者の方々の為に何かしたい！」居ても立ってもいられない気持、同朋の危機に運命共同体、民族として、共通の文化の共

有者として家族と同じように助けたい気持、これこそ日本人の復活であり日本文化の本質への覚醒であります。日本人の大団結！最も日本的伝統が未だ残っていた東方地方の方々に対してはなおさら感情も高ぶるといえるものです。

政治家や官僚、財界人：そして我々も日頃行っていた事はいかにか小さかったか。忘れて去っていた、日本全体のビジョン、日本文化のすばらしさ、そして日本人の真の心、精神の埋没していた宝の復活こそ、この度の大地震の悲劇を救う一つの光明となりました。

被災者相互の助け合い、近隣の人々、そして、自衛隊、警察、消防等行政組織の人々や電力会社の放射線を恐れずの突貫修理：は申す迄もありませんが、連休には十三万人を超すボランティア、全国よりの義援金や応援：久々で日本は一つになり、皆の心が

「絆」となり「和」となりました。「和」は「倭」であり「我」が国、日本なのです。今後の被災者救済や復興計画も含め「災い転じて福」としまししょう。

これを機に更なる友情を文京区支部の新たな歩み
ゲマインシャフト的ヒューマン・リレーションの小さな一つの単位である「文京白門会」の紳士・淑女諸氏も「母校愛」という形で今回の大きな「うねり」の中で「友情」を更に深めていこうではありませんか。

平成八年四月創立の中央大学学員会東京文京区支部は十六年目の活動に入っています。「椿山荘」での「観桜会」も東日本大震災でも負けずに開かれ活気付けました。会員増強も含め松沼茂幹事長始め会員諸氏の本年度も御力添えのほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成二十三年度総会のご案内

日時 六月二十七日（月）午後六時
会場 東京ドームホテル42階 シリウス
議題 事業・決算報告他
講演 「彦根藩と中央大学」
講師 武蔵野学院大学副学長 大久保治男
会費 六〇〇〇円

3月11日のこと

文京区教育長 根岸創造

3月11日午後2時46分、議会に向かうため20階の廊下に出たところで、激しい揺れを感じて立ち止まった。直後にこれまで体験したことのない大きな揺れが始まる。船が大海を乗り越えていくような揺れだ。大震災を直感し、よるけながら窓際に行つて、外の惨状を見ようとしたが、眼下の街並みに大きな変化はない。ただ、お台場方向から黒煙が上がっているだけであった。高層ビル特有の揺れだったと

安堵するとともに、直ちに各学校の被害状況調査を開始した。しかし、電話は通じないうえに、児童生徒を校庭に避難させているため、防災無線にも応答が困難で、状況の把握は容易ではなかった。幸い児童生徒に被害はなく、学校も大きな被害を免れたが、集団下校をさせた学校と引き取りを求めた学校など、対応に差が生じたほか、交通機関の全面運休にもない、帰宅でき

ずに学校に泊まる中学生やバスで山梨県まで校外学習に出かけた中学校が翌朝まで帰れないという事態が生じた。文京区の震度は5弱とはいうものの、9百人弱の帰宅困難者が学校をはじめとする公共施設に集まり、教職員は子どもの安全確保に加えて避難所の初期対応によく尽力された。改めて都市型災害において果たすべき学校の重要性と課題が明らかになったと思う。

明けて月曜日、授業を再開したが、電力不足に対応した突然の運休と停電の噂等により、給食調理員の確保や食材の調達などに不安が生じたほか、余震及び放射能被害の恐れなど、情報不足の中で教育委員会の方針を示すのに苦慮した。現在も放射性物質等に関する新しいニュースが報道される中、関係機関のデータに注意を払いつつ、安全な教育行政のあり方を検討する毎日である。

そうした中で、5月上旬から、文京区の小学校教員1名を宮城県の子どもたちのために派遣している。新学期の途中にもかかわらず、担任だったクラスの児童も保護者も、その教諭を拍手で送りだしてくれたことが何よりうれしい話である。

同時に東映フライヤーズに入団。十五勝をあげて新人王を獲得。四十六年西鉄戦で完全試合を達成。巨人軍に移籍後、巨人、中日、日本ハム、横浜大洋のコーチを務めた後、平成十七年母校野球部コーチ、翌年監督に就任しました。直後の春季二部リーグで優勝を果たし、その年の秋季リーグで待望の一部復帰。

本年度の野球部は、三年間の高橋監督の熱血指導のもと、少ない部員、短い時間の中で、効率的な練習計画を立て、勝負の徹底した訓練をしまし



辻本常任理事・高橋監督を囲んで

平成二十二年度 定時総会を開催

平成二十二年六月二十九日(火)、文京区民センターに

にて、文京区支部第十五回定時総会を開催しました。

第一部の総会では第一号議案「平成二十一年度事業報告・収支決算及び監査報告」、第二号議案「平成二十二年度事業計画・収支予算案」、第三号議案「役員改選」について、満場一致で可決しました。

総会に引き続き第二部では中央大学硬式野球部監督・高橋善正氏による「秋の優勝に向けて」の講演会を開催しました。高橋監督は本学在学中、東都大学リーグで記録的な活躍をし、昭和四十二年卒業と

同時に東映フライヤーズに入団。十五勝をあげて新人王を獲得。四十六年西鉄戦で完全試合を達成。巨人軍に移籍後、巨人、中日、日本ハム、横浜大洋のコーチを務めた後、平成十七年母校野球部コーチ、翌年監督に就任しました。直後の春季二部リーグで優勝を果たし、その年の秋季リーグで待望の一部復帰。

本年度の野球部は、三年間の高橋監督の熱血指導のもと、少ない部員、短い時間の中で、効率的な練習計画を立て、勝負の徹底した訓練をしまし

中央大学 東京文京区支部

支部長 大久保治男
副支部長 飯田 康治

監事 土屋 頼子
中川 浩治
吉村 博夫

顧問 大根田昌生
田中 祺益
神保 博行

相談役 富田 誠一

幹事 松沼 茂
加藤 康人
鈴木 雅幸
田村 悟

幹事 戸井田ひろし
相場 有二
生田 時秀
大野 雅樹
大橋 雅子

幹事 奥野 光績
加藤 能久
久代 信次
倉田金三郎
島崎 修

幹事 玉井 三郎
利根川伸行
野口 昇兵
松田 茂

幹事 村岡 隆雄
米村 邦輔

中央大学創立125周年記念式典

八王子キャンパスで盛大に開催

平成二十二年、創立125周年を迎えた母校は十一月十三日(土)の午後、祝福の青空のもと、多摩キャンパスクレセントホールに、大学・政府・他大学を含む多くのご来賓・学員、千六百人の列席を得て記念式典が挙行された。

式典は本学学友会所属、音楽研究会の「王冠」の演奏で開幕、久野理事長、永井総長の挨拶の後、ご来賓の文部科学鈴木寛副大臣、私立大学連盟白井克彦会長、英国ミドルテンプルIIエイドリアン・ウイ



ットワールド代表のご祝辞に続いて、本学の生い立ち歴史をバーチャルリアリティ・寸劇で綴った「中央大学 源流、記憶 そして未来へ」が上映・上演されると深い感動が大ホールをおおった。

ややあつて本学の大学、高校・中学生による「誓いの言葉」が発せられ、鳴り止まない拍手の中に式典は終了した。

式典に参加できない地方の学員を対象に大学は北海道(札幌)、東北(仙台)、中部(名古屋)、近畿(大阪)、中国四国(広島)、九州沖縄(熊本)の各地で「式典報告と感謝の集い」を開催し、最後に五月十三日、駿河台記念館に於いて首都圏を対象に感謝の集いが開催され、十年に亘った中央大学125周年の記念行事・式典は目出度く終了しました。

椿山荘花見会

白門文京恒例の花見会は東日本大震災後の厳しい交通事情、社会情勢下にも拘らず、



遠くは長野県、千葉県より予定通りご参集下さり誠にありがとうございます。四月二日当日、都内有数の名園、椿山荘のさくら達はそれぞれ二分から五分咲きの装いで出迎えてくれました。多くの自治体、団体、企業が、この度の地震、津波、原発等、未曾有の惨状国難に対し行事中止自粛の流れの中、二十六名の白門紳士淑女は、買いだめに走ることなく、桜花の下肅々と被災された方達に静かにエールを送りました。

今さら前線は東日本同胞の力強い回復を願いつつ、首都圏から福島、宮城、岩手、青森へと北上中ですが、我が白門文京はこれからも「ガンバレ日本!」の応援団です。(椿山荘さくら会世話人)

わが町②

啄木と菊坂

(文人の心のふるさと)

明治時代、坪内逍遙をはじめ、多くの文人が菊坂を往来した。石川啄木もそのひとり。啄木は、波乱に満ちた北海道での生活に終止符を打ち、本格的に文学の道志して上京した。明治四十一年五月の事であった。

郷里岩手の先輩、金田一京助を頼り、菊坂上の高台にあつた下宿屋「赤心館」に同宿した。啄木はここで、「菊地君」「母」「天鵝絨(ビロード)」など小説五編を、ごく短時間



現在の太栄館(蓋平館別荘)

に精力的に書き上げた。しかし、原稿の買手はなく、失意の日々を送った。その寂しさを忘れるかのよう歌作に没頭した。

東海の小島の磯の白砂に

われ泣きぬれて

蟹とたわむる

は、この時代の作。

赤心館での生活はわずか四か月。下宿代の滞った啄木は京助とともに追われるようにすぐ近くの蓋平館別荘(がいへいかん・現在の太栄館の前身)という下宿屋へ移った。その三年後、啄木はこの世を去った。

(松しん 松沼)

会員募集

文京区支部では新しい会員を募集しています。中央大学を卒業され区内に住居または仕事場や、稽古場等がある方が対象です。女性会員大歓迎!

入会金 無料
年会費 三千元

連絡先 事務局

松しん内 松沼茂

電話(3814)7059
FAX(3814)0583

三・一一大震災では多くの方が亡くなりました。小生廻ること二昔、思わぬ大事故に遭遇し、肺に肋骨突き刺さり、生死の境をさま迷って、無事生還の暁に、悟りし事は只一つ。「持つべきものは良い医者、良い友、良い女房」。以下に掲げし文章は稀有の体験振り返り、絵入り駄文の戯作なり。奇を街つての和綴じ本、出版当時は反響も今や記憶の蚊帳の外。再び日の目を見せんとて、**松翁人生劇場**のさわりの一幕開演に御座います。

口上のこと

我が祖松右衛門が伝えし 江戸は昔のよもやま伝記「松右衛門体験貴録」より 放駒蹴走記が一節をば 別冊かわら版《本郷松右衛門平成体験貴録》に相認めましたるにつき とくと御笑覧下されたくここに謹んで御案内申し上げ候
平成二年十一月吉日

本郷松しん 十三枚目

平成松右衛門 敬白

あれは平成元年暮の事 江戸は本郷菊坂で 和紙小間物問屋の主松右衛門 寄り合い前の道すがら 根津権現社に詣でけり：



ようやく暮れゆく年の瀬に 今年最後の寄り合いが 指ヶ谷あたりで開かれて 常には酒などいただくに 今宵はたまたま辞退して 中仙道をぞ越えにけり

本郷松右衛門体験貴録

松沼 茂

はてさて師走は寒いもの 右足左足交互して 心はこたつと思いが 突如からだかはねあがり 翔ぶが如く：と覚えけり

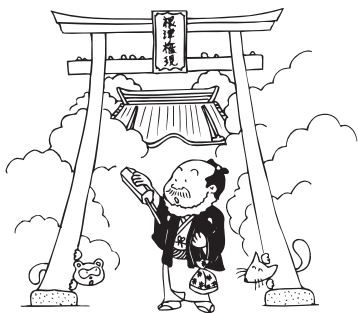
すわ和紙小間物問屋の 松右衛門 あれ町役の松さんと 年の瀬ひかえし田町宿 坊さん、医者だと大騒ぎ 知らせで急ぎ駆けつけた 大名火消加賀鳶の その名も高き根津睦 しばやく戸板に我が祖乗せ 養生所へとまっしぐら

江戸はきつての名医師と ほまれも高き三井香庵 自ら指南の大手術 明け六つ鐘も聞えけり 名医と気力で我が祖は どうにか続ける虫の息 枕元には国元の 下総郷より駆けつけし 親族一同ただ無言……

蘭方漢方南蛮流

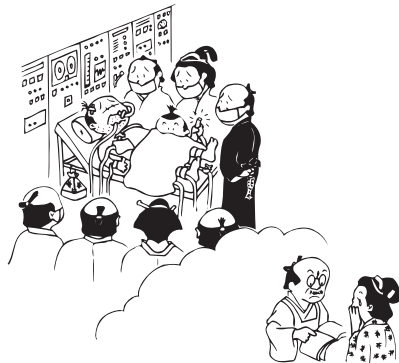
あらゆる医道で治療受く 伴天連医術の描き出す 祖が胸中のものすごさ げに苦しきは肺内視鏡

中に住いし悪血虫 必至で抜き取る岡田保庵



自ら重湯のさじ取りて 味わう今年の病院食 しようよう峠も越えたかと 見交すあんだの顔と顔 とうとう生命取り止めて 名残はつきねど養生所 転院は名所浅草の いそ野駒形療養所 窓辺に望むは仲見世か はたまた浅草寺の大屋根か 寢床に聞えし暮の鐘に 思いはいつしか吉原堤 夢から覚めれば怪我の身に 回復治療の日々が待つ 注した大針いく百本 飲んだ薬もいく千包 必至で続ける西洋医療 気管肺臓傷所洗い 朝な夕なの治療にて 大門夢遊のひまは無し 見舞の人を駒形え

連日連夜押しかけて 湯屋じゃ芝居じゃのぞき屋と 怪我人忘れて大はしやぎ 指折り数えりや六十余日 磯野健庵の許しを得 待ちに待ったる退療日 注意事項のあれこれも こぼれる笑顔で上の空 帰り着いたやなつかしわが店 ことじやわしじやと喜ぶ矢先 女房指さす信玄袋 思い起こせば根津権現社の あの目求めしおみくじ一つ 皆への挨拶そこそこに 不自由な指にて取り出せば 神とは全く偉いもの あれから今日までお見通し 我が祖生来多趣味なり 仮の姿を写真に取れば 「遊び人の松ちゃん」と 写るんです





彦根城・埋木舎前にて

● 第一日
東京からの一行六名（ひかり505号で米原にて普通列車に乗り換え）を大久保支部



今回が初めての白門文京の旅行会は、十一月十五日から翌十六日にかけて、彦根と京都への研修として実施された。

日頃たしなむ万遊行
出来ぬつらさが五体にひびく
狭き鬼小屋で女房の「おせち」
礼法しばし柵に置き
有無を言わせぬ荒療治
楽しき養生中にはあれど
これは辛いな苦しいな
苦手な熱湯にいつまでも
いついつまでも松右衛門
利き手の右はまだなれど
左の方なら完全と
外洋まではまだ無理じゃとて
大川あたりで試練の釣行

彦根・京都悠遊の旅

長が彦根駅で出迎えた。
現地集合した一人を加え、
総勢八名で旅行会が始まった。
支部長のウエルカムランチ
（ビールと合う近江牛がとて
もおいしい！）を宿泊先の彦
根キャッスルホテルでいただ
いた。昼食後、ホテルのワゴ
ン車で琵琶湖畔を巡り、埋木

一見大儀に言葉で飾り
吉原なんぞへ顔出せば
馴染みのありんす上機嫌
ともあれ一年余り経ちまして
店に戻りし松右衛門
以前に変わらぬ行動力にて
仕事・遊事に精を出す
願いまするは皆様のオ……
家内安全、高売繁昌、招福同
運、火の用心、大願成就、千
客万来、恙病息災、家運隆昌
を冀う

舎に向かった。
月曜日が定休日にもかかわらず、支部長のご好意により屋敷を見学させてもらった。
中堀沿いにある埋木舎（うもれぎのや）は、井伊家第十一代当主の十四男として生まれた井伊直弼が十七歳から三十二歳まで住んだ屋敷で、直

氣力・体力・遊び事、
あらゆることに自信のあ
った二昔前、交通事故で
肋骨十五か所という瀕
死の重傷を負い、文字通
り生死の境をさまざまし
た。神の助けか人の助け
か無事生還を祝い平成二
年、体験記を肉筆とイラ
ストによる戯作本として
出版しました。

弼は自らを埋もれ木に喩え、
和歌、茶道、武術などを修養
した。現在は国の特別史跡と
なり、当主は大久保支部長で
ある。場所は、彦根城佐和口
多聞櫓前にある。
次に、惣構えの城である彦
根城に向かった。
この城は、井伊直政の子直

戸井田ひろし議員 必勝だるまの会報告

食・文・家・地・楽の京懐石料理旅館「吉田山荘」へ。こ
こは中大42年卒中村英一氏のお店
で元東伏見宮家別邸である。
紅葉に染まる窓外の景色、
京懐石のやさしい味わいを実
感したひとときであった。
平安神宮での参拝をすませ、
京都駅で東京へ帰る人、近く
の親戚に会いに行く人、ここ
から新たに旅立つ人が別れを
惜しんだ。
（鈴木雅幸）

天秤櫓が立ちはだかり、また
石段を登ると本丸に出た。本
丸に立つ三重の天守閣は華麗
な姿をしている。天守に入る
と急勾配な階段を登り、最上
階へ。ここから見る琵琶湖の
景色に圧倒された。その後彦
根博物館まで戻り、見学した。
夜の大会が再開のあと、
ライトアップされた玄宮園を
散策し、第二部のカラオケス
ナックへ移った。

● 第一日

支部長以下七名は、彦根駅
発九時五十五分新快速で京都
駅に向かった。三年坂から清
水坂を土産屋を冷やかしながら
上り、清水寺の正面階段で
ユーターンし、途中で二台の
タクシーに分乗した。
めざすは昼食処である美・

本会副幹事長の戸井田ひろ
し議員は、文京区議会議員と
して区民目線で連日汗を流し
ております。四月の改選にあ
たり白門文京有志は「必勝だ
るまの会」を結成し出陣式で
必勝だるまを用意して応援。
おかげ様にて戸井田候補は、
民主党が厳しい逆風の中で、
見事四度目の当選を果たす事
が出来ました。会員の皆様に
心より感謝申し上げます。

かつて白門文京は、故遠藤
正則区長に加え、区議会議長
副議長も白門と最強軍団の時
代もあつたが、現在は戸井田
議員が孤軍奮闘の身、末長い
活躍を祈ります。
（必勝だるまの会事務局）

5月26、27日の二日間被災地を視察して参りました。この時期に視察という名目で被災地を訪れることには躊躇もしましたが、現地の議員から「ぜひ自分の目で被災地の惨状を見て、復興への対策を考えてほしい」との言葉もあり視察を敢行しました。

今回訪問した岩手県大船渡市、宮城県石巻市はともに漁業で栄える東北有数の港町で



成澤区長(右)と当選の握手

中央大学昭和30年度卒業時22歳、5年経過して27歳で結婚を致しました。平成22年10月が丁度50年の金婚となりました。前年大手術長期入院と女房殿には大変苦勞を掛けてしまいました。私の体調も快復しお互いに元気で歩ける内に、海外旅行を計画し安全でのんびりする所、夫婦の意見が一致したのが「ニュージールランド」でした。そこで中大同級の親友S氏なら毎年スキー

被災地を視察して

文京区議会副議長 戸井田ひろし

す。沿岸地域は壊滅状態で街中が瓦礫の山、瓦礫撤去が終わった所は、そこで多くの人が暮らしていたであろう村が見渡す限り一面野っ原という風景に茫然と立ち尽くすような思いでありました。

今回の震災での被害は地震

による家屋倒壊はほとんど無く、津波による浸水、特に引き波によって街が破壊尽くされ全てのものが押し流されてしまいました。

街中の瓦礫の山を目の当たりにすると、瓦礫処理という復興への第一歩でさえ遠い先

のことと思えてきます。人的被害には言葉もなく、大船渡市では死者・行方不明者466名、石巻市では六千名を超え、現在も三千名の不明者は発見されていません。

5月25日現在、大船渡市では32ヶ所に1370名、石

巻市では七千名以上の方が市内100ヶ所の避難所で避難生活を送っています。

その中の大船渡市大船渡中学校と石巻市河北総合センターの2ヶ所の避難所を訪問いたしました。避難されている方とお話をしましたが、皆さん

「金婚旅行」

倉田金三郎

で4回程「ニュージールランド」へ行くベテランなので相談した所、快くOKとの事、所が二日後S氏夫婦も来年金婚なので一緒に旅行したいとの事、私達は大歓迎で二組の金婚旅行となりました。但し今回の旅行では、お互いの趣味の「スキー」「ゴルフ」は禁止、奥様サーブに徹する事としました。計画ではツアー

旅行をベースに充分に余裕をとり見るべき所は2〜3泊に増やし普通ツアーより5日多くなつた。食事もツアー付以外は現地人の行くレストランで土地料理、又朝食もウォーキング帰りにコンビニフアーストフードで新鮮な果物野菜等調達して4人で気軽に楽しんで、時にはホテル豪華料理を頂き大変バラエティに富

思いの外明るく、冷静でしたが、その心中を図り知ることができません。

今後のことについては、生活再建資金の増額により家を再建し、すぐにでも元の場所へ暮らすことを望み、多くの方が同様の気持ちであるとのことでした。

住宅の高所移転を方針とする政府の復興計画とのギャップに今後の復興計画が容易でないことを感じました。

公共インフラの再整備と個人の生活再建、また、新たな防災計画とそれに伴う災害対策経費等の震災復興予算は約20兆円とのこと、福島原発事故被害とあわせて、早急な予算化・対策を望まずにはいられません。

んだ楽しい食事でした。

今回で二回の大地震のシツクな街「クライストチャーチ」

- ・湖の傍のクイーンズタウンでの蒸気船のクルーズ
- ・霧のベールに包まれたミルフォードサウンド
- ・尊厳が迫って来る様なマウンツクック山etc

旅行は天候が一番、総て晴天でした。本当に天候と友情に包まれた楽しい金婚旅行でした。

そばと地酒
そば処
湯島多なか

本物だからおいしい
当店では北海道幌加内農協と契約栽培したそば粉を使用しております。
何卒楽しくお召し上がり下さい。

TEL/FAX 03-5684-8150

東京ドーム ナイター観戦

昨年の夏は連日30度以上の
寝苦しい真夏日が続きました。



夏の納涼行事は屋形船かナイター競馬でしたが、昨年は、東京ドーム社長久代さんのお骨折りで、人気の高い「巨人×阪神戦」のチケットが入手でき、ナイター観戦となりました。

8月20日(金)の夕方は、少し冷房の効いた東京ドームに、仲睦まじい夫婦での参加5組を含む20名が集合しました。ビールを片手に暑さを忘れ、久々の生観戦です。5回裏には、我が中央大学OB阿部慎之助捕手の第36号ホームランが飛び出し、応援にも熱が入ります。また、亀井義行内野手も安打1本を打ち、我が中央大学OBの活躍もあ

ホームページを立ち上げる

管理者 鈴木雅幸

昨年の総会で決定された支部ホームページの設置は平成22年9月1日付けで学員会に届出をしました。

当初は、アイビーエム製のホームページビルダーで作成を開始したが、思うようにシステムが組み上げられなく断念しました。その後WEB上で販売しているホームページメーカーとサーバーを借りて8月15日から作成に入り、下旬よりテストを繰り返し完成させました。

初めてのホームページの作成であったが、よくやったものだと回想しています。

支部会員は、もう既に閲覧したこととは思いますが、URLは hakumon-bunkyo.jp で、白門文京でも検索可能です。又、学員会本部とリンクしています。

り、巨人軍が「12対5」で勝利しました。(加藤康人)

ガンバレ中大健児

箱根駅伝は六位

昨年の箱根は四位と健闘、永らくシード落ちスレスレのハラハラ・ビールの正月に活気が戻ったかに見えた我が母校、今年も四位躍進の立役者五区山登りに大石(四年)、六区山下りに山下(四年)が健在とあって、上位入賞の期待大いに高めて乾杯ビールと共に正月テレビに望むが、母校Cマークの躍動は殆んど見られず、画面はライバル校のWマークがいきなり踊り、



他を圧倒する。

復路の二日目もほぼ独占。

オイオイそんなはずでは？

中大ガンバレ！

母校は前半の失速を若手の頑張りで大手町ゴールでは六位に食い込んだが、往年の活躍を知る駅伝ファンには何とも悔しい今年の箱根駅伝であった。

神宮の春は無念

昨年の中大神宮ファンは久々の東大大学優勝を期待して臨んだ。おりしも母校は125周年を迎え、大きな花道が待っている。だが優勝の壁高く、エース沢村を打線が援護出来ず、あと一歩及ばず春は東洋に、又秋は、伏兵国学院に優勝をさらわれ意気消沈の母校応援団にビッグニュース。甲子園春夏連覇の立役者、沖繩

興南高校のエース島袋洋奨(しまぶくろようすけ)の入学の報に歓喜、再び中大優勝の期待が高まる。

尚五月二十日現在、島袋投手は憧れのジャイアンツに加入した「沢村投手」同様打線に恵まれず、それぞれ苦労の一勝のみ、中大球児、試練の野球道に幸あれ！

(神宮ファン)



お願い 会費振り込みにご協力ください

学員会文京区支部はあなたの会費で運営されています。会活動のスムーズな運営のため、左記口座に年会費(三千元)をお振り込み下さい

振込先 郵便振替 〇〇一六〇〇一三一五八一七七

(白門会文京支部 代表 加藤康人)

駒沢大学名誉教授
武蔵野学院大学大学院教授・副学長
文京区
支部長 **大久保 治男**
本宅 彦根城内井直彌学園所埋木舎
自宅 〒112-0011 東京都文京区千石二丁目六丁目一六〇四
TEL 〇三(三三九四一)八〇四四
TEL 〇三(三三九四一)八〇四四

代表取締役
長 **土屋 一男**
音羽印刷株式会社
本社 〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目三〇一八
TEL 〇三(五六八九)五五一〇
TEL 〇三(五六八九)五五一〇
営業部 〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目三〇一八
TEL 〇三(三三八二)〇二五一〇
TEL 〇三(三三八二)〇二五一〇
TEL 〇三(三三八二)〇二五一〇

株式会社 **東京ドーム**
代表取締役
長 **久代信次**
東京ドーム株式会社
〒112-8575 東京都文京区後楽一丁目三番
電話 〇三(三八一)二二二番(代表)

株式会社 **関東電気自主検査協会**
代表取締役
亀谷卓夫
本社 〒112-0011 東京都文京区千石四丁目一四一三
TEL 〇三(三三九四)四六三二(代)
TEL 〇三(三三九四)四六三二(代)
FAX 〇三(三三九四)四八八三

中川・大塚法律事務所
弁護士
中川浩治
〒102-0073 東京都千代田区九段北四丁目一五
市ヶ谷法曹ビル三〇三号室
TEL 〇三(三三三〇)四三三四
TEL 〇三(三三三〇)四三三四
FAX 〇三(三三三〇)四三三五

株式会社 **京永堂**
代表取締役会長
吉村博夫
〒113-0034 東京都文京区湯島二丁目一
TEL 〇三(三三八三)五〇二二
TEL 〇三(三三八三)五〇二二
FAX 〇三(三三八三)五〇二六

倉田金三郎
〒170-0002 東京都豊島区栗鴨一丁目二二三
電話 〇三(五九八)九四八二番

永田町新総合法律事務所
弁護士
大野雅樹
〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目一五
全国旅館会館二階
電話 〇三(三三三三)四一九八一(代)
電話 〇三(三三三三)四一九八一(代)
FAX 〇三(三三三三)四一九八一(直)

走れ、ドラマ、TCK
特別区競馬組合
副管理者 **浮田秀則**
〒140-0012 東京都品川区勝島二丁目一番二番二号 大井競馬場
電話 〇三(三三三三)三七六三―三九九九

東京都知事免許(12)第一八九三七号
社団法人 東京都宅地建物取引業協会会員
株式会社 **駒込不動産**
代表取締役 **奥野光績**
本社 〒113-0021 東京都文京区本駒込二丁目一番八号
支店 〒170-0003 東京都豊島区駒込二丁目十五番八号
電話 代表 〇三(三九九)八八四七(代)
F 駒込 R 込 東 一
五九一〇―一五五一

税務相談・経理相談
経営相談・税務申告
松田茂税理士事務所
税理士 **松田茂**
〒114-0001 東京都北区東十条四丁目一四
キヤピタルライフ東十条一〇四号室
TEL 〇三(三九九)八八四七(代)
FAX 〇三(三九九)六六一四八

学校法人 **中央育英学園**
学校法人 **東京育英学園**
理事長・学園長 **野口昇兵**
東京都豊島区南池袋二丁目一六
電話 〇三(五九九)六一九三
www.kueigaku.ac.jp

相場税理士事務所
税理士 **相場有二**
東京都文京区本郷四丁目二五―九
電話 〇三(三三八)一八三三(本郷二〇三)
FAX 〇三(三三八)一八三三(代表)
FAX 〇三(三三八)一八三三(代表)

ART. CLEAR
クロス広告&屋外広告
株式会社 **アートクリア**
専務取締役 **田村 悟**
TEL/FAX 0267-32-8161
〒389-0206 長野県北佐久郡御代田町
大字御代田2797-2
E-mail: kart@seagreen.ocn.ne.jp

各種印刷物、ホームページ等
販売促進ツールの企画・制作
トライアシック株式会社
竹本 方英
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-6-3 7階
TEL:03-3556-6892
FAX:03-3556-6894

和紙工芸品、民芸品の企画・制作
株式会社 **松しん**
代表取締役 **松沼 茂**
〒113-0033 東京都文京区本郷四丁目二六一八
TEL 〇三(三三八)七〇五九
TEL 〇三(三三八)七〇五九
FAX 〇三(三三八)〇五八三
http://www.matsushin.jp
E-mail:shigeru@matsushin.jp

編集後記
3月11日午後、列島を襲った地震、津波、原発事故で日本は今、未曾有の困難に見舞われています。国民一丸となって、「東日本大震災」を乗り越えよう。「ガンバロー ニッポン!」「がんばれ 東北!」。(松)

編集委員 **松沼 茂、加藤康人**
戸井田ひろし、鈴木雅幸